

2月の外来医師診療予定

		月	火	水	木	金
午前	内科	盛 (細川)	細川	岩隈	細川	黒田
	リハビリ	菊田	菊田	菊田	菊田	菊田
午後	内科	松浦 (細川)	細川	岩隈	細川	秋山 (松浦)
	リハビリ	菊田	菊田	菊田	菊田	菊田

マスクによる感染症予防の有効性

**インフルエンザウイルスは主に飛沫感染で伝わるので
マスクの着用は感染予防として有効です。**

マスクは感染症予防手段のひとつとして有効ですが、正しく使用しなければその効果を十分に発揮できません。

人は1日に何回も鼻や口に手をやりますので、手に付いたウイルスが接触感染の原因になります。

マスクをしていると間接的に接触感染を防ぐことができるため、この点でも有効です。

マスクの正しい使い方

装着する時

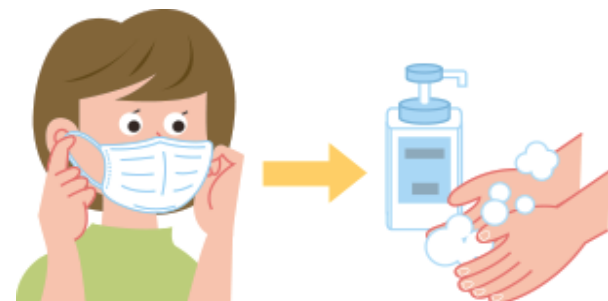
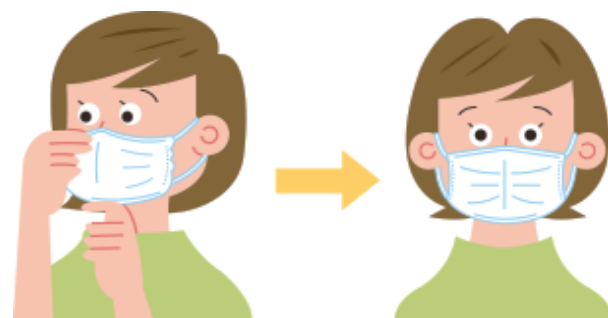
- ① ゴムひもで固定し、鼻、口、顎を覆う。特に鼻と口の両方を確実に覆うことがポイント。
- ② 鼻の部分を押さえてフィットするよう調節する。
- ③ 隙間がないように調整する。

使用中

使用中はマスクになるべく触らないようにする。
特に、口周りを覆うフィルター部分には触らないよう注意し、触った時はすぐに手を洗う。

外す時

- ① ゴムの部分を持ち、上の方に移動させる。
- ② フィルター部分の表面に触らないよう注意して、顔から外し、廃棄する。
- ③ すぐに手を洗う。



あと
がき

今年の鍋相撲大会は、当院から、5名が抽選に参加しましたが、エントリーできたのが女性1名でした。
結果は2回戦敗退となりましたが、今後優勝を予感させる、すばらしいバランス感覚の人だな～と思わせる戦いぶりでした。今後に期待！



広報誌

つつじ

第96号

令和2年2月1日発行



2月行事予定



- 12日(水) 病院感染対策学習会「環境清掃」について
25日(火) 医療安全対策研修会「チームの鎖」実践



医療法人社団つつじ会
空知中央病院

部署紹介

院内保育所「のびのび」

《子供達との触れ合いは、何よりの良薬》

患者様が子供達の踊りや活動を観たり触れ合いを通じ、表情、動きまで一変してきます。もちろん満面の笑顔なのですが、幼い子供達に「私が守ってあげる！」という感じで、いつもは周りから世話を受けている患者様が前向きに能動的積極的に。

先生がたも「これは何よりの良薬。私たちも負けないで頑張らないと」と、スタッフ含め場の雰囲気にも熱気が。

子供達も「人にやさしく接すれば、やさしく笑顔が返ってくる」。弱者へのいたわりの気持ちが増幅してか更に人にやさしく笑顔で。

インフルエンザやノロウイルスなど、感染症の心配や厚労省の指針で重篤な患者様が多くなっている配慮などから、ここ1年は活動がやや薄れていますが、そういった患者様のご家族様からも「是非」という応援をいただき、今後さらに触れ合いの機会を増やしていきたいと思ひます。

病院内保育所は、厚生省（現厚労省）支援の元、24時間交替で勤務する看護介護スタッフを利用対象として始まり、今は病院外からの入所も可能となっています。

運営は外部業者委託のケースが多いのですが当院は病院の直轄です。現在保育士はパートも含め7名、児童は23名、費用は当院スタッフの場合は食事他含め月額1万円です。

なお、「当院保育所から新十津川町や滝川市の幼稚園に通い3時過ぎにまた戻ってくる」といった幼稚園との併用の子供達もいます。それら幼稚園の送迎バスは保育所前に停まります。

新十津川駅での活躍



近年新十津川駅がマスコミでも注目されていますが、それには院内保育所の子供達の活躍が大きく貢献してきました。

今から9年前、1日3便。社会に一所懸命貢献してきたのに町の人達からですら忘れられた新十津川駅。それが当院に入院されてくる患者様と重なって見える時があり、当時「明日が来るのが楽しみに。そんな雰囲気の病院に！」と各セクションが頑張っている中、「駅を艶やかに花で飾り、私はここにいるんだよ、がんばってるんだよ。まだまだ現役だぞ！」

と全国に向かって言ってあげようと始めた駅周辺花飾りですが、子供達が駅前で花の手入れをしている時、旅の人と仲良くなり、その見送りをした事から「また行く！」と言って始まりました。

子供達は手作りの絵ハガキを配ったり、太鼓を叩いて歓迎の踊りを披露したり、また自分たち自らも季節ごとに乗車して小旅行。それが新聞やテレビでも話題になり、全国からお礼の手紙や贈り物をいただきました。

子供達、冬の寒さだって負けません、いえ楽しい！ 札沼線、5月のラストランに向かい、今年もみんな元気いっぱい笑顔で！！

空知中央病院理事 丹芳男

ペンネーム： 立歩人（りっぽじん）

